

問 題 訂 正

地理歴史、公民②『地理総合／歴史総合／公共』

出題範囲：地理総合（新課程科目）

訂正箇所	18ページ 第4問 問1 図1
誤	
正	

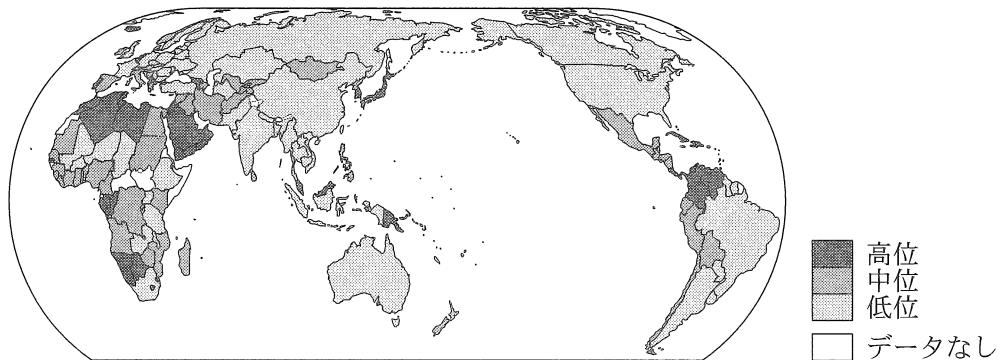
地域Aの7月の降水量を変更した。

地 理 総 合

(解答番号 101 ~ 116)

第1問 食料の生産や消費は、自然環境や生活文化にかかわり、地球的課題にも結びついている。これに関する次の問い合わせ(問1~4)に答えよ。(配点 13)

問1 次の図1は、食や健康に関するある指標を示したものである。この指標として最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。101



統計年次は、2018~2020年の平均または2019年のいずれか。FAOSTATなどにより作成。

図1

- ① 栄養不足人口の割合
- ② 穀物の輸入依存度
- ③ 1人1日当たりカロリー摂取量
- ④ 平均寿命

問 2 次の図2中の地点ア～エの周辺における自然環境と農業の特徴について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

102



図 2

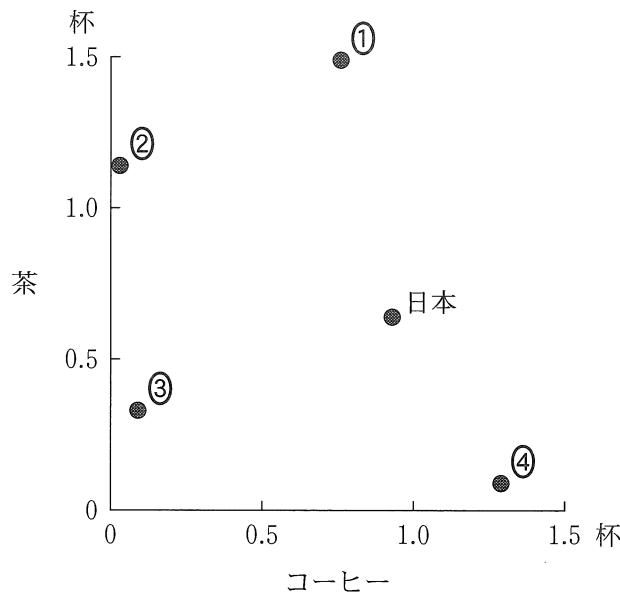
- ① アの周辺は、降水量の季節変化が少ない冷涼な気候であり、肥沃な土壌をいかして小麦などが栽培されている。
- ② イの周辺は、1年中乾燥する気候であり、オアシスや灌漑施設を利用してアブラヤシなどが栽培されている。
- ③ ウの周辺は、雨季と乾季が明瞭な高温の気候であり、焼畑によりキャッサバなどが栽培されている。
- ④ エの周辺は、冬より夏の降水量が多い温暖な気候であり、ブドウなどが栽培されている。

問 3 食文化には、地域の歴史的背景や自然環境が反映されている。次の図3は、いくつかの国におけるコーヒーと茶の1人1日当たり消費量*を示したものであり、①～④は、イギリス、イタリア、インドネシア、中国**のいずれかである。イギリスに該当するものを、①～④のうちから一つ選べ。

103

*コーヒーは1杯10g、茶は1杯3g換算。

**台湾、ホンコン、マカオを含まない。



統計年次は2020年。FAOSTATにより作成。

図3

問 4 次の表1は、南・東南アジアとヨーロッパについて、イモ類の生産量に占める、生産・収穫から消費までの各段階における食品ロスの割合と、最終的な消費量の割合を示したものである。表1に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。

104

表1

(単位：%)

	各段階における食品ロスの割合					最終的な消費量の割合	合計
	生産・収穫	貯蔵	加工	卸売・小売	消費		
南・東南アジア	6.0	17.9	7.6	7.5	1.8	59.2	100.0
ヨーロッパ	20.0	7.2	10.9	4.3	9.8	47.8	100.0

統計年次は2008～2010年。FAOの資料により作成。

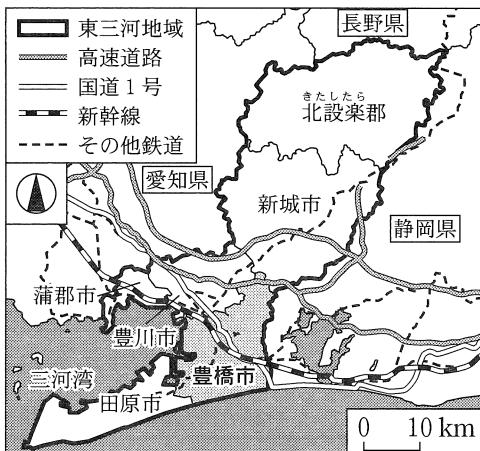
両地域のうち、生産・収穫段階のロスの割合が高いのは、ヨーロッパである。その要因の一つには、①小売業者の定める品質基準に満たない生産物が廃棄されることがある。貯蔵段階のロスの割合は、南・東南アジアの方が高い。その要因の一つには、②高温湿潤な環境下でイモ類の収穫時期が短期に集中し、貯蔵施設が不足することがある。いずれの地域においても、卸売・小売段階のロスの要因の一つには、③小売店で過剰に仕入れた商品を廃棄する状況があげられる。消費段階のロスの割合は、ヨーロッパの方が高い。こうしたロスを削減するために、④フードバンクを通じて必要とする人に食品を提供するなどの取組みがみられる。

第2問 愛知県の高校に通うコハクさんたちは、愛知県東部に位置する東三河地域^{ひがしみかわ}の調査を行った。この地域調査に関する次の問い合わせ(問1～4)に答えよ。(配点 12)

問1 コハクさんたちは、新旧地形図をみていたところ、豊橋市の中心部の市街地^{とよはし}が拡大していることに気づいた。次の資料1は、コハクさんたちが、文献を調べたり、後の図1の同範囲の新旧地形図をみたりした際の気づきと問い合わせをまとめたものである。資料1中の下線部a～cについて、正誤の組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。

105

資料1



共通の仮説：立地の優位性や他地域とのつながりが、東三河地域の発展に寄与しているのではないか。

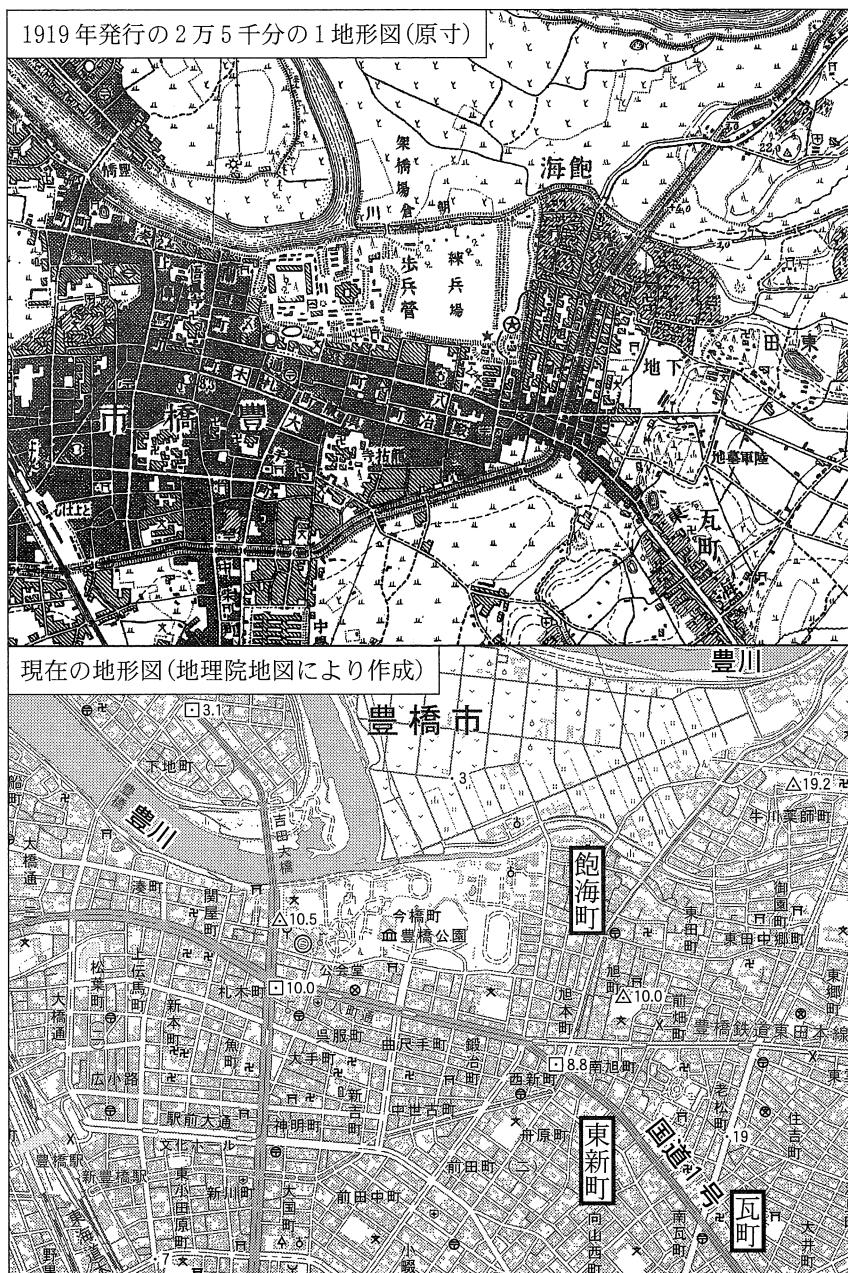


図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
a	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
b	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
c	正	正	誤	正	誤	正	正	誤

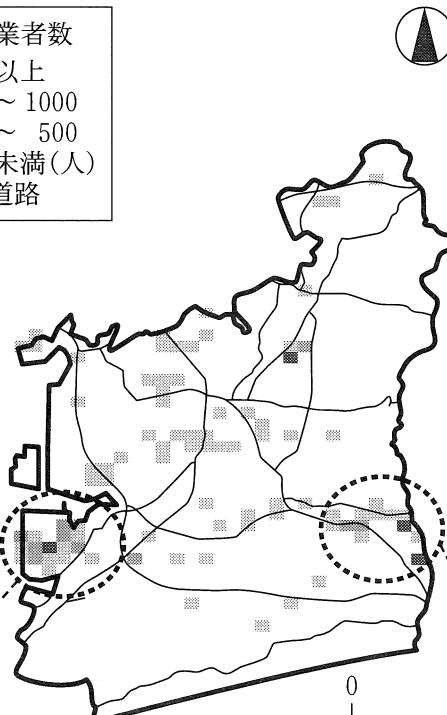
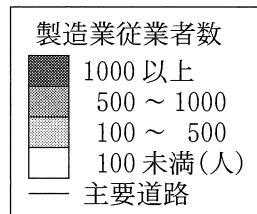
問 2 コハクさんは、自動車をはじめとした製造業の立地特性について調べ、調査

結果を次の資料2にまとめた。資料2をみてコハクさんたちが話し合った会話

文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

106

資料2 豊橋市における製造業の立地特性



豊橋市における製造業従業者数の分布図

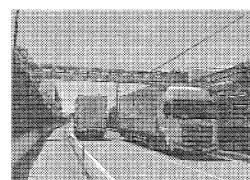
●三河湾臨海地区

自動車関連産業の集積する地域であり、海外自動車メーカーの流通基地も立地



●二川・谷川地区

国道に近接し、電機や織維、食品などの工場が集積



従業者数は、従業地にもとづく分布を示す。統計年次は2016年。経済センサスにより作成。

- コハク 「豊橋市の製造業従業者数の分布の特徴を調べるために、GISで500 m四方のメッシュを単位とした分布図を作成してみたよ」
- レオン 「豊橋市の製造業従業者の総数は約3.6万人だよ。分布図をみると、①従業者数が1000人以上のメッシュのみで市内の総数の1割以上を占めることからも、特定のメッシュへの集中傾向があるね」
- ミイコ 「市内には、港に面した地区と内陸部の地区など、いくつかの工業集積地区があるね」
- コハク 「カードに示した二つの地区は、②従業者数が500人以上のメッシュが連続して分布している点に特徴があるね」
- レオン 「工業が集積する背景には、③輸送や取引にかかるコスト軽減のメリットがあると考えられるね。どうして豊橋市では、これらの二つの地区に集積がみられるのかな」
- ミイコ 「これらの二つのいずれの地区も、主要道路に隣接しているので、④道路の利便性が最も大きな立地要因であると考えられるね」

問 3 レオンさんは、東三河地域の農業がなぜ盛んになったのかを探るため、農家の聞き取り調査結果と、地元の図書館で調べた統計などを次の資料3にまとめた。資料3中のア～ウは、キャベツ、米、サツマイモのいずれかについて、1960年と2006年の収穫量を行政区域別*に示したものである。作物名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

107

*2020年時点。

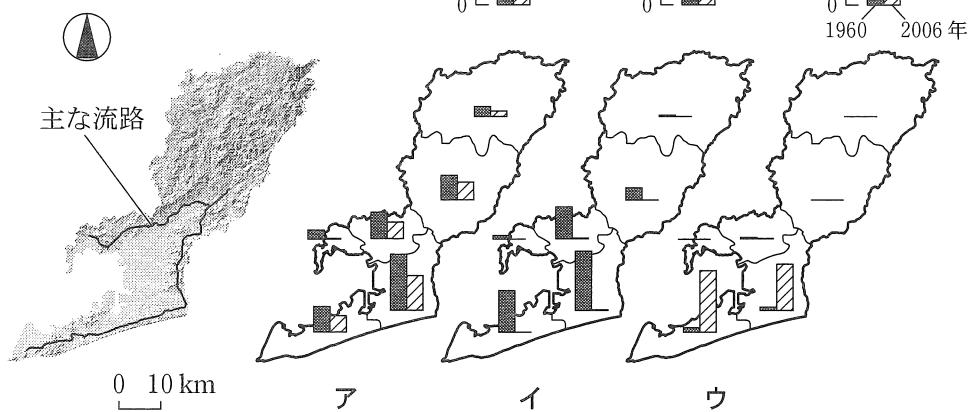
資料3 東三河地域の農業の地域性とその変容

【聞き取り調査結果】

- ・大消費地へのアクセスが向上した。
- ・豊川用水が1968年に開通することで、栽培する作物が大きく変化した。
- ・東三河地域内では、地形や気候の違いによって作物の収穫量は異なる。

【各作物の1960年と2006年の収穫量】

【地形と豊川用水】



『愛知農林水産統計年報』などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
キャベツ	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
米	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
サツマイモ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 4 最後に、ミイコさんは、東三河地域における他地域との結びつきを調べた。

次の表1は、東三河地域を発着地とした他府県との年間旅客数*を示したものであり、JとKは静岡と長野のいずれか、力とキは自動車**と鉄道のいずれかである。表1をみてミイコさんたちが話し合った会話文中の空欄Kとキに当てはまる語句の正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 108

*通勤・通学目的を除く、幹線交通機関を利用した県境を越える旅客流動。

**自家用自動車、タクシーなど。バスは除く。

表1

(単位：万人)

	J県	K県	大阪府
力	8	32	46
キ	111	1,826	22

統計年次は2015年度。全国幹線旅客純流動調査により作成。

ミイコ 「地域との結びつきは、産業に関わる物流のほか、人流にもあらわれるね」

レオン 「交通手段による旅客数の差は、(K)県が最も大きいね。特に(キ)による旅客数が非常に多いという特徴もみられるね」

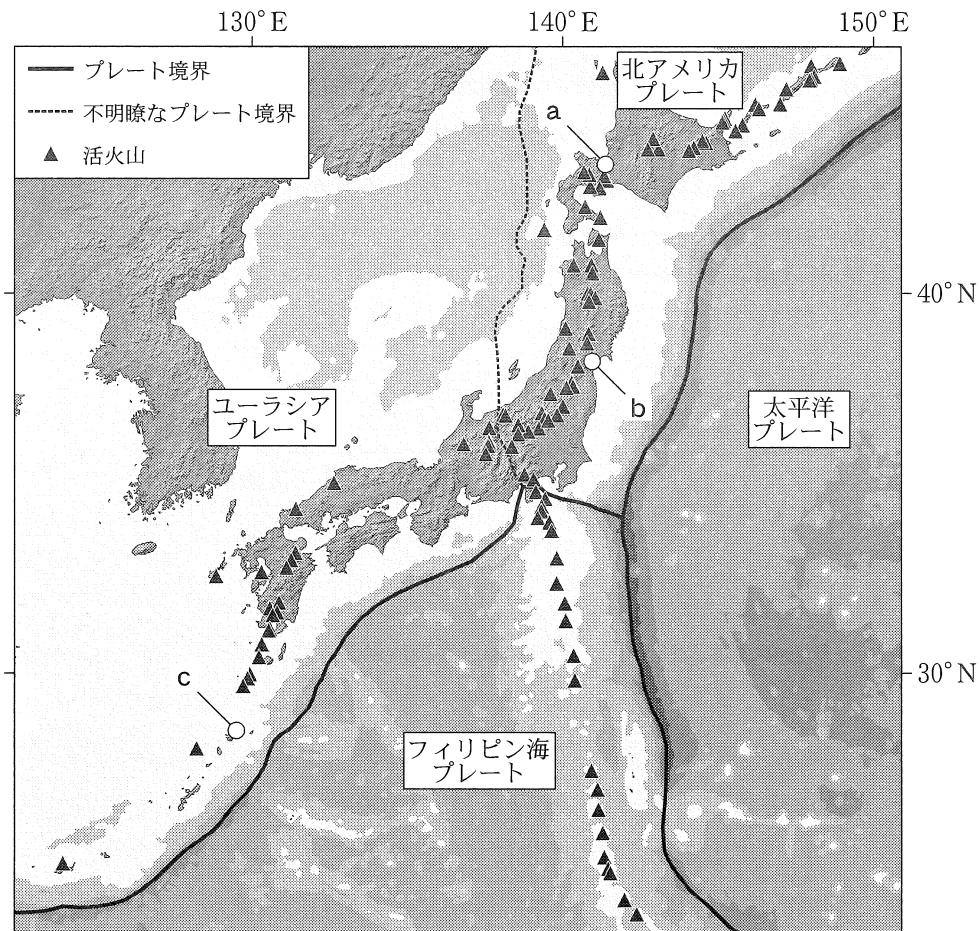
コハク 「地域活性化には、地域外から観光などで訪れる人を増やす取組みも大事になるね」

	①	②	③	④
K	静岡	静岡	長野	長野
キ	自動車	鉄道	自動車	鉄道

第3問 日本の自然環境と防災に関する次の問い合わせ(問1～4)に答えよ。(配点 13)

問1 プレート境界に位置する日本列島においては、地震が頻発する。次の図1に
関することがらについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうち
から一つ選べ。

109



海域は色の濃い部分ほど、水深が深いことを示す。気象庁の資料などにより作成。

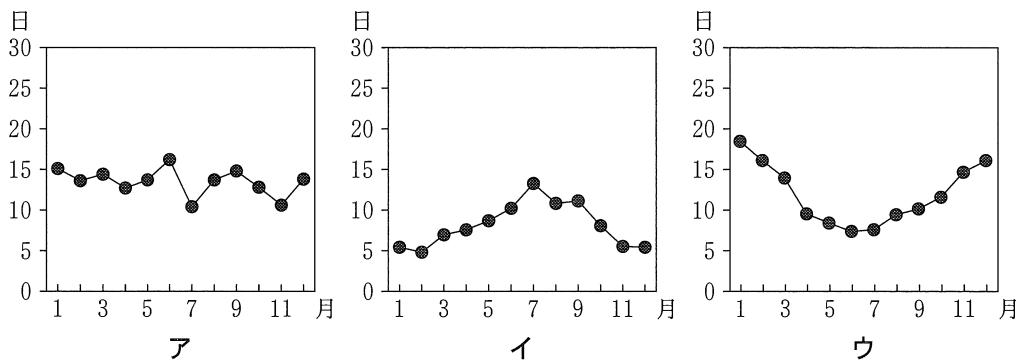
図1

- ① 東北地方の活火山は、南北方向に分布する傾向があり、太平洋プレートの北アメリカプレートへの沈み込みと関連している。
- ② 中国・四国地方では、他の地方と異なり、活火山が少なく、直下型地震も発生しない。
- ③ 九州地方の活火山は、列状に連なっており、ユーラシアプレートとフィリピン海プレートとが離れつつある現象と関係している。
- ④ 東シナ海は、太平洋に比べて面積が小さく水深も浅いため、東シナ海に震央のある地震では、南西諸島への津波が生じることはない。

問 2 次の図2中のア～ウは、図1中のa～cのいずれかの都市における月別降水日数*を示したものである。ア～ウとa～cとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

110

* 1 mm 以上の降水があった日数。



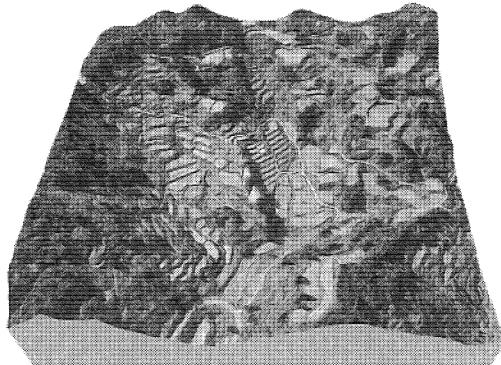
1991～2020 年の平均値。気象庁の資料により作成。

図 2

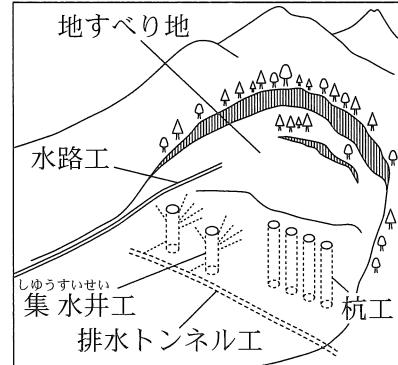
	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	a	a	b	b	c	c
イ	b	c	a	c	a	b
ウ	c	b	c	a	b	a

問 3 次の資料 1 中の空欄力とキに当てはまる語句の組合せとして最も適当なもの
を、後の①～④のうちから一つ選べ。 111

資料 1 地すべり地の利用と地すべり対策



地すべり地の 3D 画像



地すべり対策を示した模式図

日本には地すべり地が多くみられ、人々によって農地として利用されてきた。例えば、3D 画像で示した地すべり地は、周囲の山林より緩傾斜であり、主に（力）として利用されている。

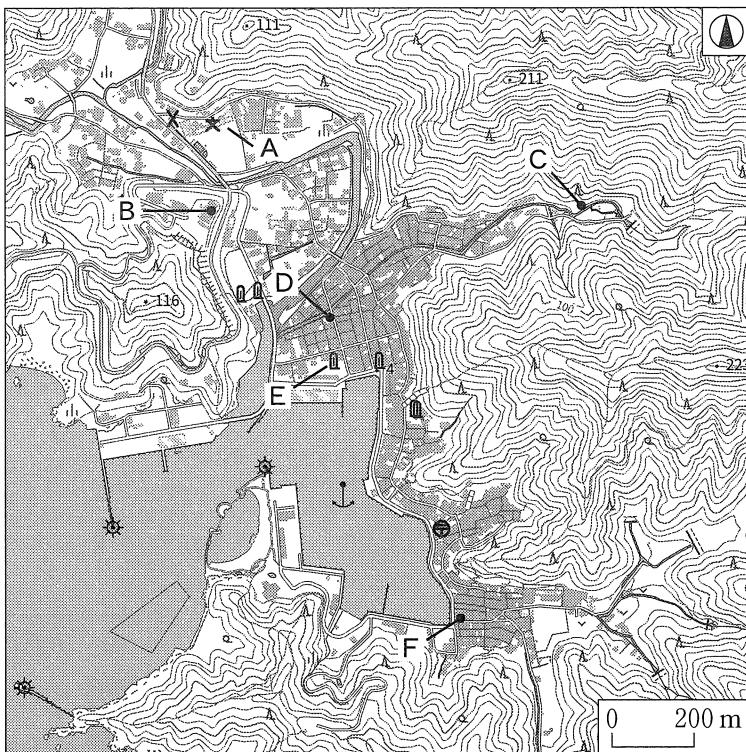
地すべり地は、人々に多くの恵みをもたらす一方、地すべりは災害を引き起こすことがある。地すべりは、地下水位が（キ）したときに生じやすいため、地表水や地下水を制御する、模式図のような対策がとられている場合もある。

国土交通省の資料などにより作成。

	①	②	③	④
力	果樹園	果樹園	棚田	棚田
キ	上昇	低下	上昇	低下

問 4 次の図3は、過去に津波による被害を受けた地域の現在の地形図を示したものである。この地域における津波や津波防災について述べた文として下線部が最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

112



地理院地図により作成。

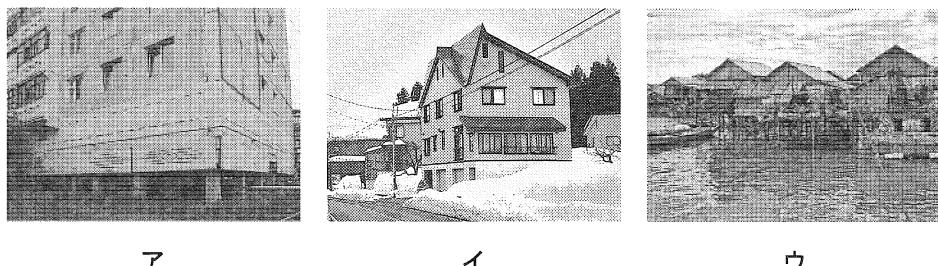
図3

- ① Aの学校は、Bの公共施設に比べて、標高が高く、敷地も広いため、津波発生時の避難場所に適している。
- ② Cは谷の中に位置しており、津波による浸水の深さは、海岸からCに向かうほど大きな値となる。
- ③ Dにある津波避難タワーは、低地に建てられており、標高の高い場所への迅速な避難が困難になる人の利用が想定されている。
- ④ Eにみられる自然災害伝承碑の地図記号は、F付近の集落にはみられないため、F付近の集落では津波発生時に避難する必要性は低い。

第4問 世界の生活文化に関する次の問い合わせ（問1～4）に答えよ。（配点 12）

問1 住居の形態は自然環境と密接にかかわっている。次の写真1中のア～ウは、北半球のいくつかの地域にみられる、床を高くした形態の住居を撮影したものである。また、後の図1は、ア～ウのいずれかがみられる地域A～Cの気候に関するいくつかの指標を示したものである。ア～ウとA～Cとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

113

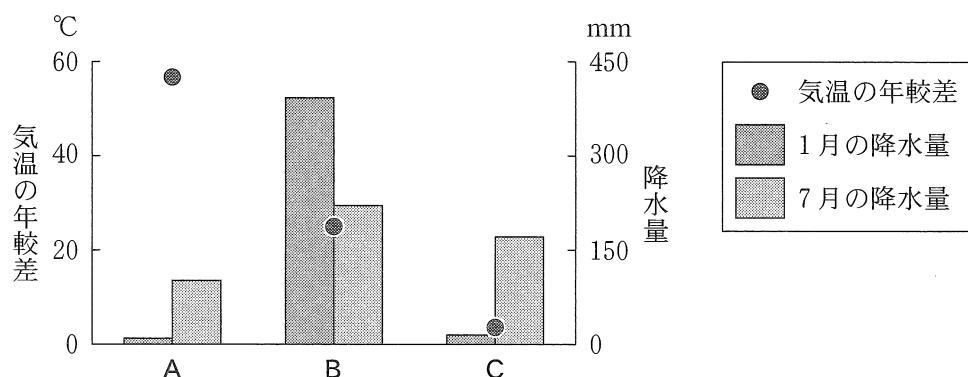


ア

イ

ウ

写真1



気象庁の資料により作成。

図1

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 2 生活文化は、他地域との交流から影響を受ける。次の資料1中のEとFは、日本におけるブラジルまたはベトナム国籍をもつ居住者数と、ブラジルまたはベトナムにおける日本国籍をもつ居住者数のいずれかである。また、資料1中の文章力とキは、ブラジルとベトナムのいずれかにおける日本との交流に関することがらについて述べたものである。日本国籍をもつ居住者数とブラジルに関する文章との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

114

資料1					
E			F		
(単位：千人)			(単位：千人)		
	2000年	2020年		2000年	2020年
ブラジル	75.3	49.6	ブラジル	254.3	208.5
ベトナム	2.6	23.4	ベトナム	16.9	448.0

【日本との交流に関することがら】

力 日本企業の進出が盛んなため日本からの長期滞在者が多い。2000年代以降、現地の人々が日本語を学ぶ中学校や高校が増えている。

キ 両国の政策を背景に多くの日本人が移住した。日本に関連した祭りや催しが行われており、現地の人も多く参加している。

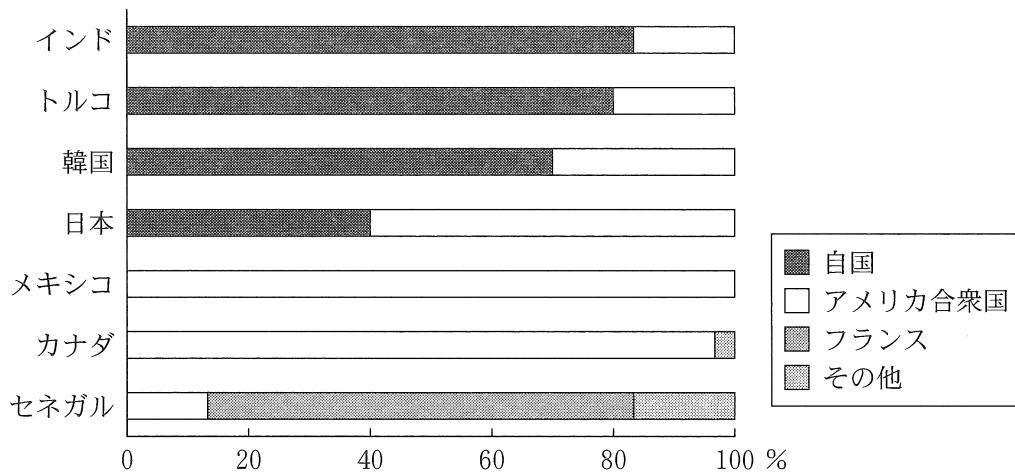
『海外在留邦人数調査統計』などにより作成。

	①	②	③	④
日本国籍をもつ居住者数	E	E	F	F
ブラジルに関する文章	力	キ	力	キ

出題範囲：地理総合

問 3 映像や音楽などのコンテンツの流通は、各地の生活文化に影響を与える。次の図2は、いくつかの国における2015～2017年に公開された長編映画のうち、各年の興行収入額等上位10作品の合計30作品について、制作国別に作品数を割合で示したものである。図2に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。

115



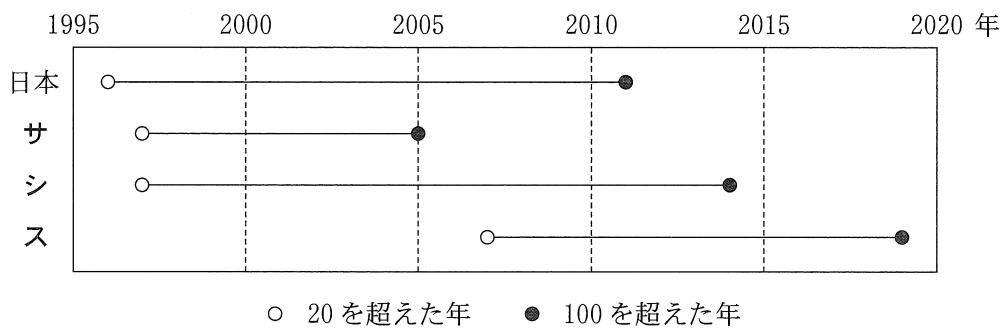
制作国は主な制作会社の本社所在地による。UNESCO の資料などにより作成。

図2

コンテンツのグローバルな流通には様々な背景がかかわっており、アフリカ西部の①セネガルのように旧宗主国との文化的なつながりが影響している場合もある。②新興国の中にも自国の映画産業が盛んな国がみられる。また、③韓国のように自国の映像作品や音楽を積極的に輸出している場合もある。映画産業が盛んなアメリカ合衆国で制作された映画は、グローバルな影響力をもっており、作品数でみると、④英語話者の割合が高い国ほどアメリカ合衆国の影響は大きい。

問 4 情報通信技術は、各地の生活文化を変容させている一方で、その普及の程度は、国により異なる。次の図3は、日本といいくつかの国について、人口100人当たりの携帯電話契約数が20と100を超えた年を示したものであり、サ～スは、アメリカ合衆国、ケニア、シンガポールのいずれかである。国名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

116



World Development Indicators により作成。

図3

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	サ	サ	シ	シ	ス	ス
ケニア	シ	ス	サ	ス	サ	シ
シンガポール	ス	シ	ス	サ	シ	サ